

日刊 動労千葉

1988.10.25
No.29/3

国鉄千葉動力車労働組合

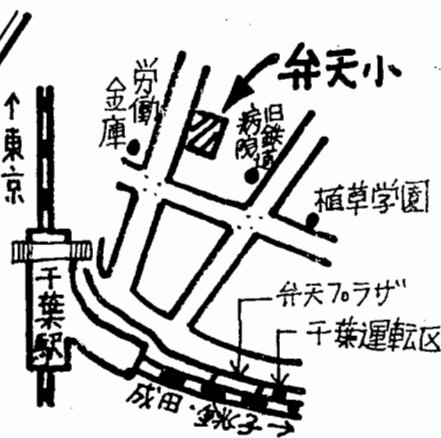
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

団結祭典は招くよ

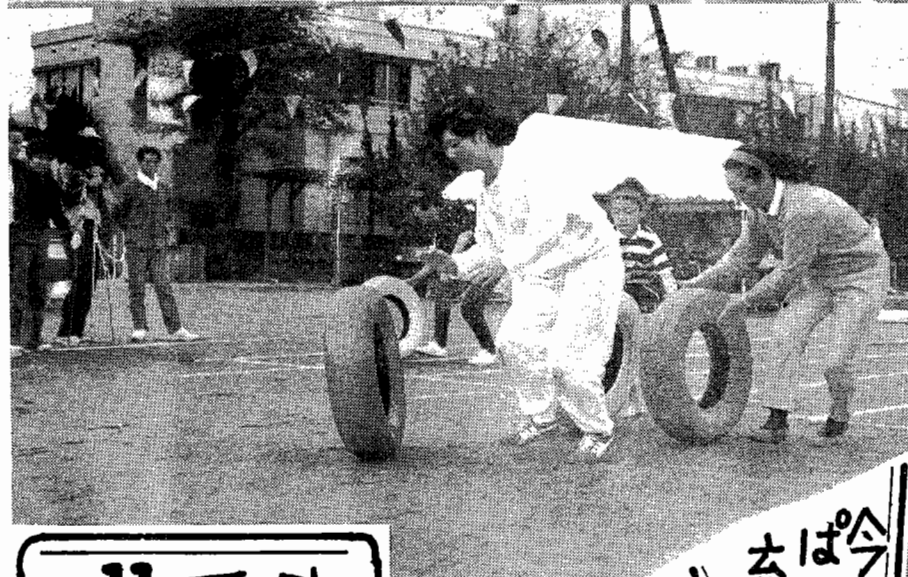
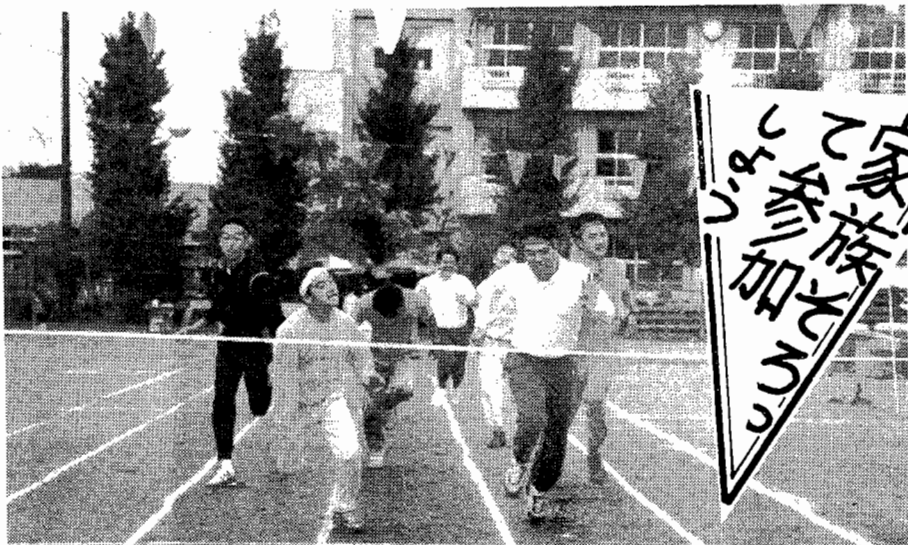
第10回 動労千葉
団結祭典



★11月3日★ 弁天小



会場案内



第10回 団結祭典
千葉市・弁天小学校
11/3 (労金本店近く)
9時30分開会



いよいよ動労千葉組合員・家族が待ちに待った11・3団結祭典Ⅱ組合員・家族の団結力を内外に示す時期がやってきました。

この間JR当局は、「分割・民営化」「意識改革」の名の下に「小集団」「意見発表」「提案」「昇進試験」などで労働者の精神をしばりつけ、また一方で「JRリクレーション」に嫌がる労働者を無理やり狩りだしています。まさに「アメとムチ」の攻撃そのものであり、これは全て当局・鉄道労連の「奴隷強要」「組合つぶし」であり、産報化への限らない道乗りであることは明白です。

しかしながら戦闘的国鉄労働運動の伝統は、この時期にこそ発火点を迎え

つつあります。全国的に開始された不当労働行為糾弾、強制配転粉砕Ⅱ原職奪還のストの中にそれを見る事ができます。

JRの安全無視、たび重なる重大事故の発生（上越線の貨物列車脱線等）をわれわれは断じて許すことなく営業から開始された長期波状ストを再開し全組合員が反合Ⅱ運転保安確立、原職奪還の旗を大きく掲げストライキへ立ち上がろうではありませんか。

時あたかも天皇Xデーを目前にした「自粛」攻撃が吹き荒れるなか、これを突き破り盛大に団結祭典を成功させよう。

十一・三には動労千葉の動員脚力を発揮しよう。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！